



令和7年度「いきいき音楽体験事業」 オペラ「ヘンゼルとグレーテル」 学校巡回公演(前編)

今年も公益財団法人「日本教育公務員弘済会栃木県支部」と、一般財団法人「栃木県連合教育会」のご援助を頂いて、10月1日に、オペラ「ヘンゼルとグレーテル」学校巡回公演がスタートしました。

毎年ご好評を頂き、今年で5回目の実施となります。今年度の実施校を含めると、県内の小・中・県立学校30校で公演したことになります。

10月9日の宇都宮市立晃陽中学校公演で、前半の3校が終わりましたので、その様子をご紹介します。



1 那須町立高久小学校 10月1日(水)

初日は、今回一番遠い那須町の高久小からのスタートになりました。全校児童89名の学校でした。当日は、この事業では珍しく朝から雨模様の天候で、気温も低めでした。

リハーサルが終わり、午後の本番が近づくにつれて雨が激しくなり、体育館の屋根に打ち付ける雨音が気になりました。しかし、体育館の中では、「ヘングレ」の熱いドラマが展開されました。



子どもたちを魅了したプロジェクション・マッピングの映像



兄妹を捕まえようとする魔女



当日のキャストたち
あれ?指揮者がいない



→終演後に見つけた秋の使者

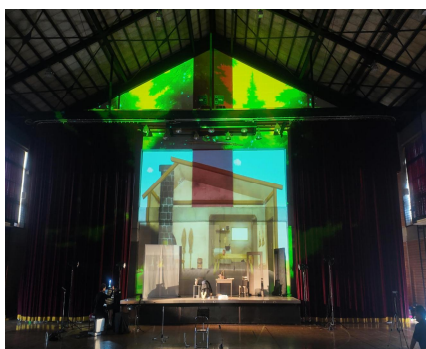
トンボも公演を観てくれたのでしょうか?

10月6日（月）

初日とは一転して蒸し暑い日となりました。池ノ森小の全校児童はなんと19名で、今年は1年生が0だそうです。（因みにこの日おじゃましたオペラ協会のキャスト・スタッフの人数は21名でした！）しかし、児童の皆さんはとても素直で、体育館の椅子並べなども6年生を中心に一生懸命やってくれました。オペラも集中して鑑賞してくれたので、出演者もやりがいがありました。



珍しい可動式ステージ



よく働く高学年生



スタッフがピアノをチェック



舞台袖で出を待つキャストたち



控室にて

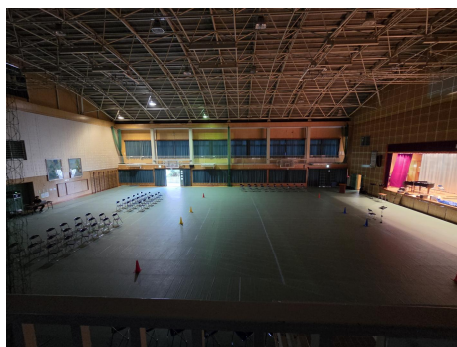


10月9日（木）

ツアー3日目。台風22号の進路が心配されましたが、ほとんど影響がなくホッとしました。会場の体育館は広くて天井も高く、音が良い響きました。ステージも広くてキャストはとても演じ易かったそうです。生徒も最後まで飽きることなく集中して鑑賞してくれました。良い条件が重なったお陰で、この日の演奏は大変充実したものとなり、キャストたちも大変満足そうでした。

なお、この日は「とちぎTV」の取材が入り、その模様が翌日の「とちテレNEWS」で放送されました。

(<https://youtu.be/jntcLF311Z4?si=aMVFeJT9CuUfPobv>)



晃陽中の広い体育館とステージ



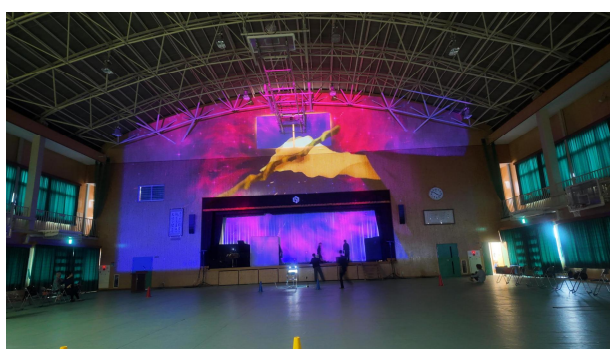
仕込み中のスタッフ



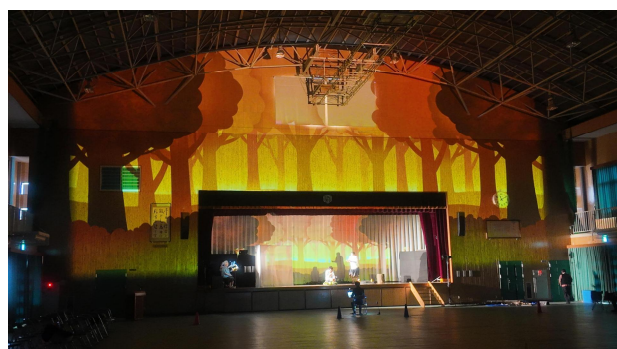
リハーサル中の指揮者・ピアニスト・ナレーター



お菓子の家の場面



場面転換の時のステージ



森の場面

ツアー前半を振り返って

地球温暖化で今年の夏もずっと猛暑が続き、10月に入ってもまだ蒸し暑い日があります。このツアー前半の天候も暑かったり急に涼しかったりで、歌い手にとっては体調を整えるのに苦労します。しかし、毎回何う学校の児童・生徒さんの喜ぶ顔を見ると、疲れや多少の不調も吹き飛んでしまいます。

今回訪れる学校は、鹿沼の池ノ森小をはじめ、ほとんどが小規模校です。人数が少なければ、演奏家を招いて生の音楽を聴く機会もなかなか無いと思います。そういう学校でも公演できるのがこの「いきいき音楽体験事業」の素晴らしいところです。それを可能にしてくださっている主催、共催の2団体の皆様に心より感謝申し上げます。

後半の公演も楽しみです。後編の報告にもご期待ください。